

'70

# 会報



THE ROTARY CLUB  
OF TSURUOKA

## 鶴岡ロータリー

第 580 号

1970.12.8 (火)

例会場 鶴岡市本町二丁目 ひさごや

事務所 鶴岡市馬場町 商工会議所内 ☎ 5775

### ◁ 隔りを取り除こう ▷

#### 出席報告

本日の出席	会 員 数	63名
	出 席 数	41名
	出 席 率	63.49%

欠 席 者 阿部(襄)君、長谷川(文)君、  
長谷川(悦)君、橋浦君、五十  
嵐(伊)君、海東君、粕川君、  
加藤君、黒谷君、金野君、嶺  
岸君、三浦(健)君、岩網君、  
中山君、廖君、斎藤(栄)君、  
佐藤(昇)君、新穂君、笹原君  
篠原君、富樫君、藪田君

前回の出席	前回出席率	77.78%
	修正出席数	54名
	確定出席率	85.71%

### 四つのテスト

— 言行はこれに照してから —

1. 真実か、どうか  
is it the truth?
2. みんなに公平か  
is it fair to all concerned?
3. 好意と友情を深めるか  
will it build goodwill and  
better friendships?
4. みんなのためになるかどうか  
will it be beneficial to all  
concerned?

メークアップ 五十嵐(伊)君—酒田東RC  
阿宗君—新庄RC  
藪田君—温海RC  
五十嵐(三)君、  
嶺岸君—鶴岡西RC

#### ビジター

土田高之丞君—村上RC  
五十嵐卓三君、帯谷義雄君、佐藤拓君、  
五十嵐正雄君—鶴岡西RC

#### 会長報告

台湾の台南RCからクリスマスカードが届いているので回覧いたします。

去る5日に幹事とともに会員加藤嘉八郎氏の病氣見舞に加藤氏宅を訪ねました。退院されたとの噂をきき訪ねたのですが未だ退院されませんでした。息子さんの話によれば、病

会報はご家族みんなで読みましょう

気が回復期に向い12月中乃至1月中には退院  
帰宅される予定とのことでした。

次に荒明勝氏が11月20日藍綬褒章を受賞さ  
れたとのことでお芽出度うございます。

#### クラブ奉仕委員会の報告 佐藤 忠君

去る1日にクリスマス家族会の打合せを行  
いました。SAA、親睦委員会、プログラム  
委員長、会計担当等が参会し、本年度実施の  
クリスマスについて検討しました。特に変っ  
た趣向は出なかったが、成るべく新しい味を  
入れて行きたいと考えております。担当の係  
として総務の方は主として親睦委員会から担  
当していただき、会場の方はSAAとSAA  
の望む方2～3名補充していただき担当して  
いただくという風になりました。しかし皆が  
分担して準備するという事にならないと運  
営がうまく行かず、皆が楽しくパーティーに参  
加していただきたいとのことから、こういっ  
た方法をとることにしました。

小野寺会員からはプログラムの担当をねが  
います。予算は前年度と同様です。

会員2,000円、家族1,200円、子供1,000円  
です。総予算を196,000円とし装飾、印刷そ  
の他全般まかなって行きたいと思ひます。

例年通り福引の景品の寄贈をねがいます。  
15日頃まで会議所にお届けねがいます。余興  
としては、プログラムにのせる都合もあり希  
望の方は次回例会までにお申込ねがいます。

#### 世界社会奉仕の報告 小花盛雄君

(その内容については、別刷にして配布し  
ますので、それを参照ねがいます)

#### 三島由起夫に係るスピーチ 池内方平君

去年11月12日に私は開腹手術を受けまし  
た。今年の11月25日に、三島由起夫氏は割腹  
自決し、日本のみならず世界中に大きなショ  
ックを与えました。同じ腹切りでも社会的に  
は大変な違いです。

三島氏の自決と行動に対する批判はまちま  
ちで、新聞週刊誌等に出ているので、ここ  
でとやかく云うことは出来ませんが、私は1年  
程前からロータリーと葉隠れ精神との共通点  
についてスピーチをしたいと思ひ、小池さ  
んに頼んで三島由起夫氏著「葉隠入門」を入  
手し準備をして居りましたが、チャンスがな  
く今日に及んできました。ところが、三島氏  
の自決が行われましたので、それに関連して  
お話ししたいと思います。時間の関係で今日  
は、葉隠と三島由起夫の問題にふれてみたい  
と思ひます。

三島氏が11月25日に自決いたしました  
が、あの日を選んだということはどういう訳か  
と、恰度その日は吉田松陰が小塚原で断  
罪を受けた命日にあたります。御承知の通り  
吉田松陰は亡くなる時に辞世をのこしてお  
ります。

〽身はたとえ、武蔵野の野に朽ちぬとも、  
とどめおかまじ大和魂〽です。三島氏の場合  
も自決に際し辞世二句を残し、その一句が

〽益荒男が たばさむ太刀の 鞘鳴りに  
幾とせ耐へて 今日の初霜〽

これは吉田松陰の辞世にやや似たところが  
みとられます。三島氏は、予てから文士とし  
ては死にたくない。武士として死にたいとい

うことを言葉中に云ってたということが報道されております。彼はノーベル賞の候補者でもあったように、現代文学における鬼才として高く評価されております。私も三島氏の著書は一つも読んだことはありません。今度この問題が発生しまして、いろいろみてみますと、（彼には200冊位の著書があるという）その中で我々が、今度の三島氏の決意に対して考えられることは、『憂国』という著書があってこれは映画にも出たと思いますが、『宴のあと』という著書があります。「憂国」などといえますのは二・二六事件、或は五・一五事件にヒントを得て書いたものと思えますが、常に彼は憂国の志に燃えていたという風に思われます。25日に東部方面総監部に行き、総監室で自決するとき、激文を読んでいることは新聞に書いている通りであります。その中にも、彼は数年前から現在の状態を慷慨しているのであります。それで何とかして日本の憲法改正、天皇護持という線において、自衛隊が起って、クーデターをやっても憲法改正と天皇護持を日本に再建すべきであるということが彼の思想のように書いております。それは現代では不相当であり、おそらく誰も考えておらない時代に、そういうことを彼は常に、あらゆる会合の場合、言葉の端々に出していたといわれております。私は以前に読んだ葉隠入門の中にも、こういうことが書いてあります。葉隠入門の本を書くについて著書の言い分ですが「種々仕事が山積しているのに、光文社の依頼を受けてこの本を引受けてしまった理由というの

は、誠に単純である。即ち私がこの本の著作を断われれば、他の人がこの本を書くであろう。私は自分の葉隠を誰にも渡したくなかったのである。勿論葉隠は大勢の人に読まれてきた。しかし戦後葉隠が否定されていた時代に、一生懸命これを読み続けて、鼓舞されてきた男は私の外には多くはあるまいと、大高慢の私であるからである」と云っております。「1960年時代に至って葉隠は実に無気味なほど現代的な本になってきた。こんなモダンな本はあるまいと思うほど、私の解説はこの現代性に留意して、出来るだけわかり易く書いたつもりである。」

以上の中の大高慢というかうのぼれということも葉隠の中では強く要望しております。大事をなすにはこの高慢でなければならぬということが葉隠の中に書いてあります。これを彼がここで表現していると思えます。

それとともに石原慎太郎氏が、三島由起夫氏と親しかったということで、この本を書いたときに石原慎太郎氏が、三島氏のことを書いているので読みますと、

「この自堕落な時代に、多くの男達は、自ら武装することもなく、安逸に己の人世を消耗する。自堕落と安逸のうちに男の矜持と尊厳を打ち捨て、士として失格しながらかえりみることがなく、だがここに一人の男がある。明晰な逆説と皮肉で己れを核とした意識の域をきずき、いつも白刃をいだいて、美の臥所に寝ている士がいる。この知的でかつ痴的な乱世に、或ときは金色をまぶした七色の甲冑

に身を固め、またあるときは全く裸身で、変化の妖しい士がいる。」と、その彼が、いつも手放さずにいる佩刀が「葉隠」であります。

この葉隠の入門の中にも三島氏が戦後20年来常に自分の座右に葉隠の本をおいて、常に自分を励ましておったというように見受けられます。彼は文武両道ということ強く言っております。

自分は、文学者として沢山の本をあらわしたけれども、最終は武士道に生きるということで、30才にして自分の身体の改造につけております。ボデービルや或はボクシングをやる。また剣道をやる空手をやるという形で15年間身体を鍛え上げて素晴らしい体力を養成しております。それで最後には文武両道の彼の信念からして、もう既に文学的作品は「豊饒の海」の完結で終止符を打ち、これがおわれば自分は武士としての最後のきまりを付けると言うことを数年前から言葉に出し死を覚悟していたように新聞などにも書かれております。

彼の45才の人生がどういふ考え、どういふ意味でこんどの11月25日の自決ということになったかということについては、これから各方面から沢山の解説なり、それに対する意見が出ると思います。このことについては後日まとめましたときに皆さんの御批判をいただきたいと思ひますし、また私も考えてみたいと思ひます。

今日は葉隠について皆様に解説したいと思ひていましたが、今日は時間の関係で少し話

題を変えて、葉隠と三島由起夫という問題について申し上げて皆さんの参考に供した次第です。

#### 幹事報告

会報到着

東京RC、石巻東RC

例会変更案内

鶴岡西RC

12月25日(金)→12月21日(月)

登録 PM4.30~5.00

登録料 ¥ 2,000

山形RC

12月23日 PM5.00 丸久5階

山形西RC

12月21日 PM6.00 大沼6階

山形北RC

12月24日 PM5:30 産業会館6階

以上クリスマス家族会のため

東京RC 12月30日→12月28日 PM12.30

帝国ホテル3階

その他

神戸ロータリークラブ発行ロータリー読本50部発注したこと。